

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	5.5	1.5	4	<通信学習課題の内容> ・人権と尊厳の保持について ・ICF について ・QOL について ・ノーマライゼーションについて ・虐待、身体拘束の禁止について ・個人の権利を守る制度の概要 テキスト①P20～P40 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・人権と尊厳の保持の考え方を取り入れた介護について グループディスカッション
② 自立に向けた介護	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・自立支援について ・介護予防について テキスト①P41～P46 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<講義内容> ・人権について ・人権への取り組みについて ・身近な人権のことについて
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解について ・介護の専門性について ・介護に関わる職種について テキスト①P50～P65 <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の職業倫理について テキスト①P66～P70 <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2.5	2	0.5	<通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保について ・事故予防・安全対策について ・緊急時に必要な知識と対応方法 ・感染対策について テキスト①P71～P100 <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるリスクについてグループディスカッション
④ 介護職の安全	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理について テキスト①P101～P110 <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> <ul style="list-style-type: none"> ・ボディメカニクスについての演習
(合計時間数)	6	4	2	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・介護保険制度創設の背景及び目的、動向について ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割について ・医療保険制度・年金保険制度の概要 テキスト②P2～P32 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・高齢者の服薬と留意点 ・経管栄養、吸引、吸収、浣腸など ・健康チェック ・訪問看護 ・リハビリテーション医療の意義と役割 ・リハビリテーション医療の過程 ・訪問・通所・地域リハビリテーション テキスト②P33～P85 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・障がい者福祉制度の理念・背景と目的 ・障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要について テキスト②P86～P112 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	4.5	2.5	2	<通信学習課題の内容> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際 テキスト②P113～P137 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・利用者とのコミュニケーションに関するロールプレイング
② 介護におけるチームのコミュニケーション	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・記録における情報の共有化について ・報告・連絡・相談 ・コミュニケーションを促す環境について テキスト②P138～P159 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 テキスト③P2～P16 <講義内容> ・ 通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・ 介護において生理的側面の知識を身につけることの必要性についてグループディスカッション
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 テキスト③P17～P53 <講義内容> ・ 通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・ 事例に基づく、グループ討議により、高齢者に多い病気やその特徴、留意点について理解させる。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・認知症ケアの理念について テキスト③P58～P61 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理について テキスト③P62～P77 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・認知症についてのグループディスカッション
③ 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応 テキスト③P78～P97 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・認知症の受容過程での援助について ・介護負担の軽減について テキスト③P98～P101 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・障がいの概念と ICF について ・障がい者福祉の基本理念 テキスト③P106～P109 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・身体障がいについて ・知的障がいについて ・精神障がいについて ・その他心理の機能障害 テキスト③P110～P158 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ <演習実施方法> ・障がい者と高齢者の介護の違いについてグループディスカッションを行う。
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・家族への支援について テキスト③P159～P164 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・倫理に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護 テキスト④P2～P4 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	0.5	4.5	<通信学習課題の内容> ・学習と記憶、感情と意欲の基礎知識 ・老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 テキスト④P5～P16 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5.5	0.5	5	<通信学習課題の内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・利用者の普段との違いに気づく視点 テキスト④P17～P46 <講義内容> ・通信課題についての解説、質疑応答、掘り下げ
(合計時間数 小計)	12	1.5	10.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導體制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	①サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満を感じさせない技術が必要となることを理解させる ②その生活を支える技術の根拠を身近に理解させる。その利用者が満足する技術を提供したいという意欲を引き出す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④ 生活と家事	3	3	0	<講義内容> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援 テキスト④P47～P52 <演習内容> ・寝具の整え方
⑤ 快適な居住環境整備と介護	3	3	0	<講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・介護保険による住宅改修 ・福祉用具に関する基礎知識 テキスト④P53～P78 <演習内容> ・いろいろな福祉用具の紹介
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・整容に関する基礎意識 ・整容の支援技術 テキスト④P79～P92 <演習内容> ・衣類着脱の介護 ・口腔の衛生
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12	0	<講義内容> ・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗のための用具と活用方法 ・負担の少ない移動・移乗と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 テキスト④P93～P126 <演習内容> ・寝床上での体位と姿勢交換 ・肢体不自由者の歩行の介助 ・視覚障がい者の歩行等の介護 ・いす・車いす等への移乗の介護 ・車いすでの移動の介助
⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみ自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・食事にに関する基礎知識 ・食事環境の整備と用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因の理解 ・食事と社会参加の留意点と支援について。 テキスト④P127～P146 <演習内容> ・食事の介護
(合計時間数 小計)	30	30	0	

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(9) ころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	①サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満を感じさせない技術が必要となることを理解させる ②その生活を支える技術の根拠を身近に理解させる。その利用者が満足する技術を提供したいという意欲を引き出す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑨入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識 ・入浴用具と整容用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 テキスト④P147～P166 <演習内容> ・入浴の介護 ・身体の清潔・整容
⑩排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 テキスト④P167～P191 <演習内容> ・排泄・尿失禁の介護
⑪ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 テキスト④P192～P202 <演習内容> ・褥瘡への対応
⑫ 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	0	<講義内容> ・終末期に関する基礎知識ところとからだのしくみ ・生から死への過程、「死」に向き合うころの理解 ・苦情の少ない死への支援について テキスト④P203～P212 <演習実施方法> ・終末期介護に関するグループディスカッション ・ロールプレイング
(合計時間数 小計)	21	21	0	

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	①サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満を感じさせない技術が必要となることを理解させる ②その生活を支える技術の根拠を身近に理解させる。その利用者が満足する技術を提供したいという意欲を引き出す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6	0	<講義内容> ・介護過程の目的・意義・展開について ・介護過程とチームアプローチ テキスト④P213～P218 <演習実施方法> ・アセスメント、介護計画書等の記録用紙を用いた 介護過程の演習 ・コミュニケーションの取り方の事例研究
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	0	<講義内容> ・生活の各場面での介護についてはある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得をさせる。 テキスト④P219～P238 <演習実施方法> ・総合的な演習 ・事例検討
(合計時間数 小計)	12	12	0	
(合計時間数)	75	64.5	10.5	

使用する機器・備品等	ベッド・車いす・ポータブルトイレ・簡易浴槽等
------------	------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 64

商号又は名称：株式会社エバカラー

科目番号・科目名	(10) 振り返り		
指導目標	①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
① 振り返り	3	3	0
② 就業への備えと研修修了後における事例	1	1	0
(合計時間数)	4	4	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。